



市議会議員
砂田喜昭
Tel 67-4322



参院議員

たけだ良介

前衆院議員

藤野保史

参院議員

井上哲士

衆議院議員

笠井あきら

3月議会



水道料金値下げを求める砂田市議=3月11日

砂田市議の一般質問(2)

県企業局が小矢部市など4市に水道用水を供給しています。その料金制度を改定する議案が2月県議会に提出されています。その値下げ分を市の水道料金値下げにまわすよう砂田市議が3月議会を取り上げました。

上水道料金の値下げを



県企業局・料金改定の影響

小矢部市には

1400万円値下げ

【砂田市議】 県企業局の料金体系変更による影響額はどれだけか。

【産業建設部長】 受水団体4市全体で1億2千万円の縮減と見込んでおり、本市では約1400万円の縮減が見込まれている。

【砂田市議】 責任水量制は改められたのか。

【産業建設部長】 これまでの契約水量を料金算定の基礎とする責任水量制から、基本料金と従量料金の2部料金制へと改正することになった。今後の水需要の変化に柔軟に対応し、かつ企業局と受水団体の安定経営に資するためである。ただし、実際の受水量については受水団体4市における水需要の状況や県企業局の経営状況も踏まえて、西部水道用水供給事業連絡協議会において協議しながら定めていく。

【砂田市議】 小矢部市が県に申し込む「当該年度における各月の一日あたり計画受水量」をどれだけとするのか。月ごとに変わるのか。

受水量も1・6%減

【産業建設部長】 令和4年度の計画受水量は一日あたり4899立方メートルで、前年度比1・6%減量と見込んでいる。計画受水量は例年同様、月ごとに変える予定である。

【砂田市議】 小矢部市は県企業局が値下げした分を市の上水道料金値下げにまわしてきた。県企業局は市民の負担軽減を願っているものとはこれまででは明言していた。

今度も値下げにまわすことを求めたい。

市水道会計でも

経費節減努力 千数百万円

【砂田市議】 昨年の責任受水量引き下げによる小矢部市の経費節減額はどれだけか。

【産業建設部長】 受水量6%縮減で、約830万円の縮減が図られた。その分を自己水で補給することから240万円の増加となり、全体では約590万円の経費縮減になる。

【砂田市議】 新年度から行う隔月検針隔月集金による経費節減額はどれだけか。

【産業建設部長】 約600万円と見込んでいる。

県水値下げ分は

市水道料金値下げに

【砂田市議】 そのうえ県水受水量も1・6%下がり約200万円助かる。経費全体では1500から1600万円ほど節減になるのだから、県水受水料金値下げ分を市の水道料金値下げにまわすべきでないか。

【産業建設部長】 人口減少や節水器具の普及で、有収水量が減少し、給水収益も減少の傾向がつづいている。一方では水道施設の老朽化が一段と進むなかで、現在のサービス水準を維持していくためには老朽管更新などが必要である。

現時点では、今後の上水道事業の経営状況をふまえた上で、十分な検討を行い、慎重に判断したい。

【砂田市議】 年間の総配水量を見たら、ここ数年235万立方メートル前後で

ロシアはウクライナ侵略、止めよ！

高岡駅前を デモ行進

ロシアのウクライナ侵略抗議デモ実行委員会の呼びかけで、3月22日「ロシアは侵略を止めよ」と120名が高岡駅前をデモ行進しました。小矢部市を含む奥西地域全体から市民が駆けつけました。商店街の人が熱烈に手を振ってくれ、高校生も「がんばって」と声を掛けてくれました。



推移している。新年度予算では220万立方メートルだが、コロナで減るかも知れないと見込んでいるだけではないか。設備投資にしても、自分の懐具合を考えるとやらないといけない。老朽管更新を仮に1000メートルやろうかと計画していても、経営状況を判断して600メートルに我慢して、しのぐことも必要ではないか。

大口需要家に

市水道の利用促進を

【砂田市議】 これまでも問題にしてきた大口需要家（県立高校、北陸中央病院など）の小矢部市上水道用水の利用促進を働きかけてはどうか。

【産業建設部長】 新たに建設された店舗や保育施設など大口の需要家では利用しているが、過去から井戸水を利用している大口需要家には上水道を利用していただけない状況である。これら大口の需要家にも利用促進を勧めていきたい。